KISC

5

2023
May

Kagoshima Industry Support Center



マトヤ技研工業株式会社
代表取締役社長
豊増　敏夫さん

今号の表紙



ものづくり日本大賞「九州経済産業局長賞」
を受賞したボンジリ自動脱骨機『鶏･マーくん』

マトヤ技研工業株式会社

代表取締役社長　豊増　敏夫

＜企業概要＞

所 在 地　曽於市末吉町南之郷3050-6
設　　立　1985年6月
従業員数　60名
事業内容　自動省力機器設計・製作及び販売
T E L　0986-76-0018
F A X　0986-76-2729
U R L　https://matoya.com/
E-mail　info@matoya.com

今号の表紙は、本県北東部の曽於市末吉町に本社を置き、自動省力機械メーカーとして生産システムの開発、設計・製作に取り組んでいるマトヤ技研工業株式会社の代表取締役社長 豊増 敏夫さんです。

同社は､現在会長職にある益留福一氏が､機械メーカーで勤務していた同僚の豊増社長と1985年６月に創業し、現在は、食肉機械システム、電子部品機械システム、自動車部品機械システムの３部門を中心に事業を展開しています。

開発から納入（設計・電気設計・加工・組立・現地工事）までを自社で行い、自動化・省力化のアイディアを形にする独創性や納入後のアフターフォローを強みに、畜産県鹿児島の基幹産業である食肉処理関係を中心にユニークな省力機器を数多く開発しています。



◇食肉プラント建設事業への進出

「夢・想像は創造の源」という理念のもとに、「小さな大企業」を目指し、絶え間ない商品開発を続け、創業時に開発した豚肋骨剝離機を手始めに、豚･牛大腸切開機、豚・牛小腸切開機、豚足脱毛機、センマイ洗浄機、鶏卵用モールド剝離機、せせり切剥機等、オンリーワン製品を次々と発表し、数多くの賞を受賞しています。

今年１月､ものづくり日本大賞「九州経済産業局長賞」を受賞したボンジリ自動脱骨機『鶏・マーくん』は、ボンジリの尾骨を抜型の上に置くだけでインデックステーブルが回転し、尾骨を筒で打ち抜き骨と肉を分けて排出する装置で、人の４～５倍の生産性を実現しました。

これらの製品は、日本国内をはじめ、アメリカ・カナダ・台湾・タイ・中国・EU諸国・メキシコ・オーストラリアなどの海外企業でも採用されています。

近年は、食肉処理の単品機械だけでなく、これまでに開発した食肉機械を工程順に並べて係留所から、と畜、解体ライン、冷蔵庫、部分肉加工室、出荷までの食肉プラントの全体設備を建設する体制を整え、これまで国内４ヶ所の食肉センター建設を受注し、県内と県外の各１ヶ所は既に稼働しています。

その他､電子部品の生産ラインの装置も増えています。

また、同社は、2017年に「経済産業省 地域未来牽引企業」に選定されるなど、地域経済の中心的な担い手企業として高い評価を得ています。



大貫用ミスターテンダー
（肋骨剥離機）



せせり（小肉）自動切剥機
「トリ・ドリ・ミドリ」

◇今後の取組

「「社会的信頼と責任」「会社の発展」「社員の幸福」という経営理念のもとに、創業以来、オリジナルの製品開発を進めてニッチな市場で勝負してきましたが、今後は量産品の製造にも力を入れていきたいと考えています。

今後も、お客様に安心、安全で喜ばれる機械装置を提供してまいります。そして、社会や地域の皆様に信頼される企業を目指してまいります。」と、豊増社長は語っています。

CONTENTS

2　今号の表紙
3　特集　かごしま産業支援センター　令和５年度主要事業の紹介
10　特集　令和４年度 食品関連産業「カイゼン」活動取組優秀社紹介
11　ベンチャープラザコーナー
14　会員企業ＰＲコーナー
15　かごしま産業支援センター組織・機構
16　広告



特　集

かごしま産業支援センター 令和５年度主要事業の紹介

当センターでは、令和５年３月に理事会、評議員会を開催し、令和５年度の事業計画を決定しました。概要は次のとおりです。

1　新事業創出等支援　　２１９,９６６千円

企業の事業化、販路拡大までの伴走支援、コーディネーターによる総合的・先進的経営アドバイス、経営・技術専門家の派遣、創業者に対する助成、企業のチャレンジを担える人材とのマッチング支援など、起業や新事業の創出等を支援します。

・よろず支援拠点事業

中小企業等の売上拡大や経営改善等の様々な経営相談に応じるコーディネーターを設置し、課題解決に最適な手法を選択して支援します。

＜支援内容＞

1　専門性の高い経営支援
　売上拡大や経営改善などの経営課題の解決に向け、専門性の高い提案とフォローアップを実施

2　総合的な経営支援
　他の支援機関との連携を強化し、適切な支援機関の紹介、相互連携の調整等を実施

3　政策的な重要分野への対応と地域の支援機関の補完
　ＩＴを活用した生産性向上に向けた取組、事業承継、人手不足問題並びに他の支援機関による支援の実態やニーズを踏まえ、補完すべき分野について重点的に支援を実施


《相談風景》

４年度実績	相談者数：7,302 社・者、相談対応件数：16,726 件

・専門家派遣事業

中小企業等の様々な経営相談に対応して、専門家を派遣し診断助言を実施します。
（１企業当たり年間８回程度）

４年度実績	５社（延べ33回派遣）

・プロフェッショナル人材戦略拠点事業

中小企業等に、新製品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担うことのできる人材と企業とのマッチング（副業・兼業も含む）をサポートします。

＜支援内容＞

1　「攻めの経営」への転換促進（意識喚起）
2　プロ（専門）人材雇用の決断促進（人材ニーズの具体化）
3　プロ（専門）人材とのマッチング支援（人材ニーズの取次）
4　フォローアップ

４年度実績	相談件数：153件、取次件数：119件、成約件数：81件

主な実績


《副業・兼業人材活用セミナー》





《求人相談会》

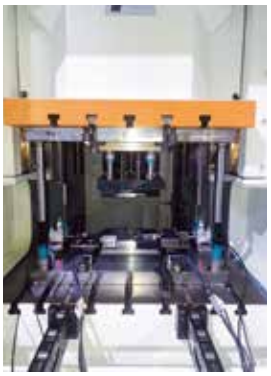
・新産業創出ネットワーク事業

新事業の研究開発や新事業の実施に対する補助金支援、事業計画策定から新事業実施まで一貫した伴走支援、新事業創出に関連するセミナー等を実施し、地域資源等を活用した県内中小企業の新産業の創出を図ります。

支援内容	1　研究開発支援 新事業創出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う県内の中小企業者に対し、研究経費の一部を補助 2　新事業創出支援 独自の技術を用いた新製品の開発や、地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品開発のための人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助 3　伴走支援 専門のコンサルタントによる事業計画のＰＤＣＡや課題解決の手法、資金調達の相談等の伴走型の支援 4　セミナー等の開催 新規事業の立ち上げに必要なスキルやマインドを持った人材を育成するための勉強会や、最新のビジネスモデルや技術等を学ぶことができるセミナーの開催 ①ビジネスセミナー（３回程度） ②社内中核人材勉強会（５回程度） ③フィールドワーク・ワークショップ（１回）
４年度実績	開発支援：５件、新事業創出：（継続）９件（新規）７件、伴走支援：12社、 ビジネスセミナー：３回、社内中核人材勉強会：５回、アイデアソン・ハッカソン：１回

主な実績

1　研究開発支援



試作用金型
（㈱東郷）

2　新事業創出支援



半導体洗浄用の低メタルクエン酸の
開発と製造
（九州化工㈱）



健康食材の商品開発，販路拡大
（㈲エスランドル）

3　セミナー等の開催

①　社内中核人材勉強会



《勉強会風景》

②　アイデアソン・ハッカソン



《フィールドワーク》



《成果発表会》

• 起業支援伴走プログラム事業

ビジネスプランを確立した方や具体的な起業準備を進める方を対象に、プランを具体的に数字に落とし込み、必要な支援先・メニューへの誘導を行うなど、起業に至るまでのメンタリング支援等による実践的なプログラムを実施します。また、県ビジネスプランコンテストの１次審査通過者に対しては、事業プランのブラッシュアップや最終審査会のプレゼンテーションに向けてのサポートを行うプログラムを実施します。

支援内容	１　実践プログラム （起業準備者やビジネスプランコンテストの応募者・最終審査会参加者が対象） ※集合メンタリング：年間２回 個別メンタリング：年間30回程度 ２　ブラッシュアップセミナー （ビジネスプランコンテストの１次審査通過者が対象） ※年間１回（15人程度）、個別メンタリングあり ※　以上全て参加費無料
その他	（上記１関連） 鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者は、起業支援事業への申込みが可能
４年度実績	実践プログラム：集合メンタリング ２回、個別メンタリング 延 43 回（18 人） ブラッシュアップセミナー：１回（個別メンタリング含む。）

• 起業支援助成事業

ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成します。

支援内容	起業及び新事業展開のための準備に必要な経費、新たな商品・サービスの市場調査等のために必要な経費、商品・技術の開発のために必要な経費、商品・サービスの特性を情報発信し広報するために必要な経費、商品・サービスの販路開拓及び販売促進のために必要な経費
助成率等	2/3以内（限度額　1,500千円）　助成期間　単年度
４年度実績	６件

主な実績



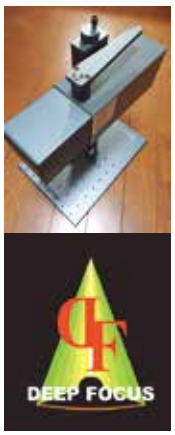


（㈱ルタンはうす）
霧島市：マウスピース製造販売業






（㈱KCL）
鹿児島市：経営・店舗運営指導事業

（Deep　Focus）
霧島市：ゴルフ用品販売業

• 経営革新等伴走型支援事業

代替わりを契機として、経営革新による企業の飛躍を図るため、専門人材を活用し、伴走型支援による事業の磨き上げを行います。

また、これを通じて、未来を担う次世代経営者（後継者）の育成を推進します。

４年度実績	県下商工会議所等と連携した経営革新計画承認件数：11件

2　戦略的産業振興支援　　５４，３４１千円

新たな産業の創出のため、新技術・新製品の研究開発や食品関連企業の効率的で質の高い生産体制の整備などを支援します。

・食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業

食品関連企業に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りを、より一層推し進めることで、食品関連産業全体の資金・人材面等の経営資源への効果等を高め、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化を支援します。

１　企業訪問による生産管理・カイゼンの助言
２　社内ゼミの開催支援

４年度実績	企業訪問：224回、食の「カイゼン」ゼミ：35回 ゼミ成果発表会（事例報告）のオンライン配信：１回

主な実績





《食の「カイゼン」ゼミ》



≪ゼミ成果発表会≫

・成長型中小企業等研究開発支援事業

中小企業・小規模事業者が大学・公設試験研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等を一貫して支援し、中小企業・小規模事業者による情報処理、精密加工等のものづくり基盤技術の向上を図ります。

４年度実績	１件

3　地域資源活用支援　　１，０００千円

地域資源の活用や農林漁業者と商工会の連携による新商品等の試作品開発･販路開拓等への助成により、新事業の創出等を支援します。

・魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や食品開発を支援します。

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額　100万円）　助成期間　単年度
４年度実績	１件

主な実績





《吉村醸造㈱：試作した「減塩もち麦味噌」と加工品の検討》

4　研究開発・技術支援　　１４,２３８千円

ＡＩ・ＩｏＴの活用や新技術・新製品開発及び外国出願等への助成、産学官の連携や大学等技術シーズとのマッチングなどにより、研究開発や新たな技術向上を支援します。

・先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、②AI・IoTやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発を支援します。

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額　200万円）　助成期間　単年度
４年度実績	１件

主な実績





《日本ガス㈱：自動搬送ロボットを用いた栽培装置と開発したスプラウト》

・シーズ・ニーズ・マッチング促進事業

大学や公設試験研究機関などの研究シーズと、新技術や新製品の開発に取り組んでいる鹿児島県内の中小企業等のニーズを発掘、収集、提供することにより、双方のマッチングを図ります。

４年度実績	シーズニーズ調査：51件、窓口対応：210件、マッチング：37件

・中小企業等外国出願支援事業

外国の特許出願等（特許、意匠・商標・実用新案、冒認対策商標）に要する経費の一部を助成します。

支援内容	特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額　１企業につき300万円、１出願につき30 ～ 150万円） 助成期間　単年度
４年度実績	４件（特許３件、商標１件）

・かごしま産業技術賞事業

鹿児島県内の企業等が原則として最近３年間に開発した新製品・新技術を公募し、特に優れたものを表彰します。

5　マーケティング等支援　　２６,０４５千円

新製品等の国内外への販路開拓、商談会の開催、県外展示会への出展支援、市場ニーズ調査結果の事業化等の支援を行うとともに、専門調査員の巡回、取引紹介あっせんなどにより、マーケティング等を支援します。

・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

ベンチャー企業に新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組を支援します。

４年度実績	２回開催（県内企業６社、県外企業１社発表）







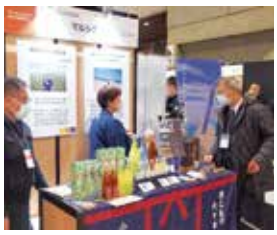
《ベンチャープラザ鹿児島「二水会」》

・新製品等販路拡大支援事業

県内中小企業者が自ら開発した新商品・新製品の販路を拡大するため、国内で開催される商談会・展示会に参加し、または県外の取引先や商社等を県内に招へいし、商談会等を行う場合、その経費の一部を助成します。

支援内容	1　国内で開催される商談会・展示会への出展に要する経費 2　県外の取引先や商社等を県内に招へいして行う商談会や工場見学に要する経費
助成率等	1　国内商談会出展助成　2/3以内（限度額 500千円）、助成期間　単年度 2　県外企業招へい商談会助成　2/3以内（限度額 300千円）、助成期間　単年度
４年度実績	17件（全て国内商談会出展助成）

主な実績


《国内商談会出展》

・取引あっせん強化推進事業

県外における発注案件の掘り起こしと県内モノづくり企業のＰＲを積極的に行い、新たな取引先の紹介あっせんに繋げる他、商談会や工場見学を実施して県内企業が発注企業と直接商談できる機会を提供します。

４年度実績	「かごしま取引商談会」　２月９日　鹿児島市内 参加企業：発注 17社、受注 49社 取引成立：８件　初回取引金額：1,940千円（３月時点） 「ミニ商談会」（県内企業を訪問する現場商談）６回開催 参加企業：発注 ６社、受注 延べ23社 取引成立：３件　初回取引金額：1,750千円



《かごしま取引商談会》

・モノづくり取引開拓出展支援事業

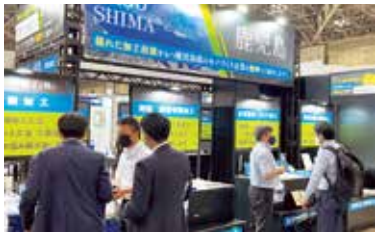
大都市圏で開催されるモノづくり関連の展示会に出展し、県内企業の製品や加工サンプルを展示して県内企業の加工技術をＰＲし、新たな取引先の紹介あっせんに繋げます。

［令和５年度予定］

第28回機械要素技術展	６月21日～23日	東京ビッグサイト
中小企業テクノフェア in 九州2023	７月５日～７日	西日本総合展示場
モノづくりフェア2023	10月18日～20日	マリンメッセ福岡
SEMICON Japan 2023	12月13日～15日	東京ビッグサイト

４年度実績	出展回数：４回　取引成立：18件　初回取引金額：20,766千円 「第27回機械要素技術展」　６月22日～24日　東京ビッグサイト 「中小企業テクノフェアin九州2022」　７月６日～８日　西日本総合展示場 「N-PLUS 受託・加工技術展」　９月28日～30日　東京ビッグサイト 「モノづくりフェア2022」　10月５日～７日　マリンメッセ福岡

主な実績

≪第 27 回機械要素技術展（東京）≫




≪モノづくりフェア 2022（福岡）≫

・モノづくり情報収集提供事業

受発注情報の収集提供による新規取引先の紹介あっせんや九州７県合同広域商談会の開催等により、県内モノづくり企業の取引拡大を支援します。

４年度実績	取引あっせん：304件　　受発注企業訪問：延べ287社 取引成立　　：　68件　　初回取引金額　：34,619千円

主な実績





≪九州７県合同広域商談会「製造技術マッチングフェア」（福岡）≫

・下請かけこみ寺事業

中小企業の取引上の悩みについて、企業間取引や下請代金法等に詳しい相談員や弁護士が無料で相談に応じます（匿名可能・秘密厳守）。

４年度実績	窓口相談：50件　移動弁護士相談会：４回開催　無料弁護士相談：４件

◇新規事業◇

・事業継続（BCP･BCM）支援事業

中小企業の事業継続を支援するため、事業継続計画（BCP）策定や計画策定以後のBCMに関するセミナーを開催するとともに、アドバイザーによる個別訪問等により、策定や策定以後の相談･助言を行います。

6　情報化支援　　7,432千円

各種支援事業や企業経営に役立つ情報等の提供を行うとともに、専門家等の派遣による会員に対するＩＴ化の促進や生産体制の向上を支援します。

・情報支援事業

インターネットやメールマガジン等で情報提供を行います。

４年度実績	地元新聞への中小企業経営情報掲載：36回、メールマガジン配信実績：52回

・KISC会員支援事業

会員企業に対して、情報誌「KISC」の提供や取引あっせんメールサービスの他、ＩＴ操作技術やＩＴ化による生産性向上を実現するための講師・専門家派遣及びホームページ作成費用等助成とともに、社内情報化人材育成のためのＩＴ資格（基礎）取得助成などを行います。

また、高次な生産管理手法によるコストダウンを実践できるような生産体制の向上を支援します。

４年度実績	情報誌「KISC」発行（５、８、11、2月）　取引あっせんメール配信実績：３回 情報化人材育成事業（社内パソコン研修）：20社 ＩＴ導入促進支援事業（専門家派遣）：11社 20回 ホームページ作成支援事業助成企業：９社 ＩＴ資格取得支援事業助成企業：２社（４名）　ＩＴセミナー：１回 現場「カイゼン」導入支援事業（企業訪問）：208回

7　人材育成支援　　1,388千円

若手経営者等を対象にした人材育成塾の開催やカイゼンインストラクターによる企業訪問・社内ゼミ等を行うことにより、企業の人材育成を支援します。

・ものづくり鹿児島リーダー塾事業

ものづくり企業の経営力向上等を図るため、若手経営者、後継者等を対象に人材育成塾を開催します。

４年度実績	６回開催：県内先輩経営者、県外専門家による講演・ワークショップ及び県内企業視察

令和４年度
食品関連産業「カイゼン」活動取組優秀社の紹介

当センターでは、平成26年度から県内食品関連産業の生産性向上に係る事業を実施しており、これまでの参加企業約100社の中から特に優秀な成果を挙げた企業に対して、令和２年度から『カイゼン活動取組優秀社』として知事表彰を行っています。

令和４年度の知事表彰式は、令和５年２月13日にマリンパレスかごしまで行われました。

今号では、受賞された５企業の主な取組・成果についてご紹介します。



吉村醸造株式会社

代 表 者：代表取締役社長　吉村　康一郎
所 在 地：いちき串木野市大里3868　　TEL：0996-36-3121
事業内容：味噌や醤油・ソース・酢の製造・販売

製品袋詰めの作業方法の見直し及び温度・時間の最適条件設定と多能工化等により、年間662万円の人件費を削減。ごみ廃棄量の見える化と使用方法の見直しや、資材のリサイクル等により廃棄費用を年間6.4万円削減しました。




上園食品株式会社

代 表 者：代表取締役社長　堂園 健二
所 在 地：霧島市隼人町眞孝字松山3344-1　TEL：0995-42-6969
事業内容：漬物の製造・販売

原料選別工程の作業方法見直し（取り置き・運搬等のムダ排除）及び各工場間での作業集約等により、年間1,800万円の人件費削減。原料脱塩工程の作業方法見直しや包装袋の最適化等で、年間380万円の利益改善を実現しました。




株式会社ナンチクファクトリー

代 表 者：代表取締役社長　八重倉 剛
所 在 地：鹿児島市七ツ島1丁目2-11　TEL：099-261-2944
事業内容：豚肉及び豚副産物等の加工・販売

製品在庫量に応じた細かな生産計画の導入等により、廃棄ロスを年間204万円削減するとともに、解凍方法等の作業見直し等により年間187万円の利益改善。端材を利用した新製品の開発で、売上額が年間440万円増加しました。





日高水産加工有限会社

代 表 者：代表取締役　日髙 顧勝
所 在 地：いちき串木野市西薩町17-14　TEL：0996-32-9421
事業内容：さつま揚げ・かまぼこの製造・販売

不良品の判断の整理、統一化等により歩留まり率を改善し、廃棄ロスを年間144万円削減。５Ｓ活動に取り組み、不要在庫の廃棄処分及び最適な置き場設定等により、活用スペースを確保し、冷凍保管料を年間200万円削減しました。




株式会社中園久太郎商店

代 表 者：代表取締役　中園 雅治
所 在 地：指宿市山川大山860-2　TEL：0993-34-1180
事業内容：漬物の製造・販売

適正在庫を確保する製造計画の立案・運用や手待ちのムダ排除及び余剰在庫の削減、製造・営業の情報共有化等により売上額が年間4,300万円増加。廃棄ロス実績の見える化による発生要因の分析・改善及び動画活用による洗浄作業の統一化等により年間約100万円の廃棄ロスを削減しました。




ベンチャープラザコーナー

第83回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和5年2月8日（水）に鹿児島市で開催し、県内企業３社と県外企業１社にビジネスプランを発表していただきました。
（県内企業は、㈱サナス、Deep Focus、ＡＭＩ㈱）
会場とオンラインの両方で参加できるハイブリッド型で開催した本会は、来賓として塩田康一鹿児島県知事にごあいさつをいただき、100名を超える参加者が発表に興味深く耳を傾け、質疑応答も活発に行われました。（これまでの発表企業累計272社、うち県内企業211社）


来賓の塩田鹿児島県知事


会場の様子


展示コーナー

○発表その１　糖含有珪藻土を活用した持続可能な農業技術の実現に向けて

（株式会社サナス）

株式会社 サナス
代表取締役社長　本坊　一浩
鹿児島市南栄三丁目20番地
TEL：099-269-1011
FAX：099-284-5225
URL：https://www.sunus.co.jp


発表する
吉元 開発研究部主任研究員



発表内容

≪企業紹介≫

弊社は1938年、鹿児島県下７工場で甘藷澱粉製造販売を生業として産声を上げ、今年で創業85年を迎えました。現在はトウモロコシを原料にコーンスターチ、ブドウ糖や水飴などを製造しています。これらの製品はビールや清涼飲料水、各種食品に使用され、日常生活で欠かすことの出来ない素材となっています。

≪商品開発のきっかけ≫

糖化工程副産物である糖含有珪藻土の新たな用途を模索していたところ、土壌還元消毒資材として有効であることがわかりました。実際に鹿児島県や市町村自治体ご協力の下､県内でトマトやイチゴ､ピーマンなど様々な施設作物で実証試験を行ったところ有用な結果が得られ、今年度からの販売開始に至りました。


糖含有珪藻土の散布

≪商品の特徴≫

施設作物 (ビニールハウス) では病害を生じさせる土壌中の細菌、カビ類などを駆除するために土壌消毒を行います。化学農薬による土壌消毒は効果はあるのですが、作業負担が大きく、近隣への配慮も必要となります。一方で、糖含有珪藻土による土壌還元消毒は、化学農薬と効果は同等で作業負担が少なく近隣への配慮も不必要です。また、生体に有害な化学物質を使用しない地球環境に優しい消毒法です。


糖含有珪藻土で土壌還元消毒した苗床

発表後の成果・感想

この度は「糖含有珪藻土」の発表の機会を頂きありがとうございました。生産者の方々からもお声掛けをいただき、次年度ご使用いただく運びとなりました。

今後の展望

弊社で発生する工程副産物を農業資材として新たに活用していただくことは、生産者におきましては経費削減や収益向上となり、稼ぐ力の向上に繋がると考えます。弊社においても、原料の安定供給（特にサツマイモ）や廃棄物削減、環境負荷低減のメリットがあり、また昨今の国際的な流れであるSDGsやみどりの食料システム戦略に合致していると考えています。今後も食品リサイクルループの実現に向けて取り組んで参ります。

○発表その２　鹿児島から発信！　革新的パターでゴルフのもう一つの“新しい景色”を！
（Deep Focus（ディープフォーカス））

Deep Focus

代表者　笠島　　卓

霧島市溝辺町崎森1880-28

TEL：090-9072-2033

URL：

https://www.deepfocus7.com



発表する
笠島　代表



発表内容

≪企業紹介≫

「鹿児島・霧島から世界へ」をキャッチフレーズに，霧島市で設計・開発・製造したゴルフパターを販売展開しています。お客様お一人、お一人に合わせたフィッティングも行い、最適パターを提供させていただきます。また、ゴルフ関連用品も含めたDeep Focusブランドとして、お客様へ楽しく、満足していただける商品の展開を図ってまいります。

≪商品開発のきっかけ≫

ゴルフでのスコアの約40%はパターで占めています。パターで悩んでいるゴルファーや自分に合っていないパターを使用しスコアを乱す方々を数多く見てきました。自分自身もゴルフをこよなく愛していることから、前職での生産技術やゴルフ経験をもとに、ゴルファー皆様にストレスなく使用していただける独自理論パターの設計・開発に取り組み、商品化する運びとなりました。



Deep Focus 7 Wing II



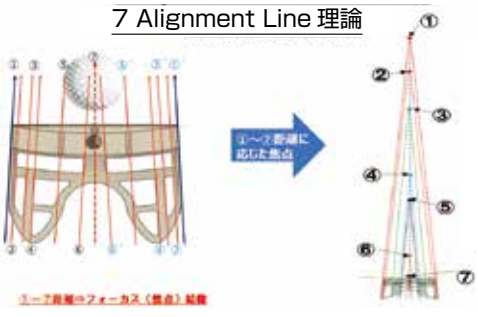
≪商品の目的・特徴≫

弊社Deep Focusパターは、パター形状（7Alignment理論）が最大の特徴であり、７本のラインで目標に焦点を合わせられるパターとして好評を得ております。この理論は特許、意匠を取得しております。また、高精度機器で測定しながらフィッティングを行いお客様に合ったパターをご提供するとともに、レーザーマーキングによるOn Nameもサービスさせていただきます。

発表後の成果・感想

今回は貴重なビジネスプラン発表の機会をいただきました。また、皆様より多くのコメントやアドバイスをいただき、今後のビジネスに繋げるよう精進してまいります。展示コーナーでは商品説明や試打等の機会もあり、商品のアピールもできました。「Made in 鹿児島・霧島パター」を今後も宜しくお願いいたします。

7 Alignment Line 理論



今後の展望

今後は、鹿児島・霧島より世界へDeep Focusパターが拡販できるよう展開してまいりますので、今後のご協力・アドバイス等宜しくお願いいたします。パター後続機種の設計も計画的に進めてまいります。

○発表その３　超聴診器の研究開発と遠隔医療への取組みについての報告

（ＡＭＩ株式会社）

ＡＭＩ株式会社

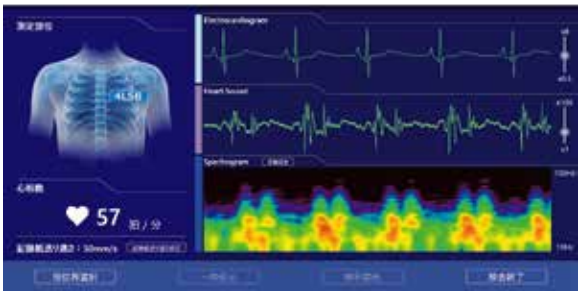
代表取締役 CEO　小川　晋平

鹿児島市東千石町2-13　302号

URL：https://ami.inc



発表する
吉永 執行役員 研究薬事部長



発表内容

≪企業紹介≫

ＡＭＩ株式会社は九州発の研究開発型スタートアップです。

事業の中心は、「超聴診器（心疾患自動診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器）」の開発です。

過去３度のNEDO事業採択、事業会社やVCからの資金調達を実現しており、世界中の健康課題を解決しうる研究開発に取り組んでいます。

当社は約200年変わらなかった「聴診」をテクノロジーにより再定義するべく、聴診のデジタル化を超えた「聴診DX」を推進し、日常診療・臨床研究・医学教育・遠隔医療などに利活用して医療現場の課題解決を実現します。

≪商品開発のきっかけ≫

心疾患は、自覚症状がないうちから早期に発見して適切な治療に繋げることが、患者の予後改善にとって重要です。

また、循環器内科医である代表の小川が2016年の熊本地震で医療ボランティアとして被災地・避難所をドクターカーで巡回した経験から、救急医療や災害時でも簡易的に実施できる検査方法や、リアルタイムに専門医と現地の情報を繋ぐことの必要性を痛感しました。

さらに、2025年にも到来すると予想されている心不全パンデミックに向け、時間をかけず簡単な手順で非侵襲にスクリーニング検査が必要と考えました。



AMI 初のプロダクト

≪商品の目的・特徴≫

聴診は約2000年前にヒポクラテスが身体診察の一つとして始め、その後約200年前に聴診器の原型が開発されて以来、聴診に変革は起きておらず、その判断には人の耳と脳が頼りとなります。

そこで当社は、人の耳と脳を超える聴診器を目指し『超聴診器』を開発しています。そして、昨年当社初のプロダクトがPMDAと厚労省から音質性能が認められ薬事承認を取得しました。

プロダクトの主な特徴は「生体音を人間の可聴周波数帯域の下限20Hzまで正確に取得・保存できる」「心電と心音を同期して取得・保存・可視化できる」の２つです。



遠隔医療のイメージ（聴診音を可視化）

発表後の成果・感想

この度は製品発表の機会をいただきありがとうございました。当社は鹿児島・熊本を中心に拠点を置いており、県内や九州の方々を中心とした有識者の皆様に製品紹介ができ大変ありがたかったです。本発表を通してあらためて今後の課題を明確にすることができました。質疑応答での貴重な意見を今後の事業に活かしていきたいと思います。

今後の展望

昨年末にプロダクトが薬事承認を取得し、2023年１月から製品を本格的に販売開始しました。同時に、大学病院等を中心に全国20以上の医療機関と共同して構築した数千以上の心音心電データベースを用いたアルゴリズムの開発を終えており、それを用いた心疾患解析AIを開発中で薬事申請を目指しています。

また海外進出に関しては、北米三菱商事とFogarty Innovationによるアクセラレータープログラムに選出されて、米国での事業戦略・薬事戦略の策定を行っています。

会員企業PRコーナー【KISC会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等 会員企業の営業活動を支援します！

掲載企業募集中！　『KISC会員限定』、掲載料無料です。お申込みは総務情報課（099-219-1275）まで

有限会社 九面屋

https://kumenya.co.jp

九州の自然を味覚で創る。（九州の特産品を上品で味わい深いお菓子に創ります）

◆（新製品の紹介）
さつま芋バターパイを発売

鹿児島県産さつま芋餡にバターを入れて、外側さっくり、中身はほっくり芋餡に仕上げました。
バターの風味が、さつま芋の甘みを引き立たせる、さつま芋バターパイです。

◆販売所
・鹿児島空港内各売店
・鹿児島県内高速道路SA
・JR鹿児島中央駅など



霧島市隼人町真孝2270-34
TEL　0995-55-5596
資本金　1,000万円
従業員数　42名
創　業　1930年

◆事業内容
菓子製造業
・かるかん饅頭、さつま芋菓子、餅菓子などの製造を行っております。

【2020年１月会員加入】

株式会社　丸俊

https://e-marutoshi.co.jp/

新登場！「～チーズに恋して～リッチかつおチーズ」Yummy！つきになる美味しさです。

◆～チーズに恋して～
リッチかつおチーズ

自社製「味付かつお節」をたっぷり使い、チーズと合わせた贅沢なスティックおつまみができました。
只今、人気上昇中です。

ビールやワインに合わせて大人のおつまみに。
ミルクと一緒にお子さまのおやつにも喜ばれます。

内容量：65g ／賞味期限：常温120日



【本社／鹿児島工場】
鹿児島市小松原1-46-1
ＴＥＬ　099-266-2211
資本金　1,050万円
従業員数　38名

◆事業内容
鰹節・かつお製品・削りぶし・海産珍味・佃煮等の製造／海陸産物の加工業務および卸・小売販売

【2020年４月会員加入】

有限会社　山吉国澤百馬商店

https://hyakuma.co.jp

鹿児島県指宿市山川にて、鰹節から鰹パックまで一貫して製造しております。

◆弊社は本枯節の生産量日本一、全国の約７割を作っている鹿児島県指宿市山川に本社工場をおき、鰹節から鰹パックまで一貫して製造しています。原料となる鰹の状態から確認して納得したものを削り加工しております。 また、削り部門を持つことによりいち早く削った状態（味、香り、花色）を確認して、業務用鰹節のお客様の細かい要望にも素早く対応することができます。原料の鰹は今では数少なくなってしまった一本釣りで漁獲された鰹にこだわり、品質の安定に細心の注意を払っております。

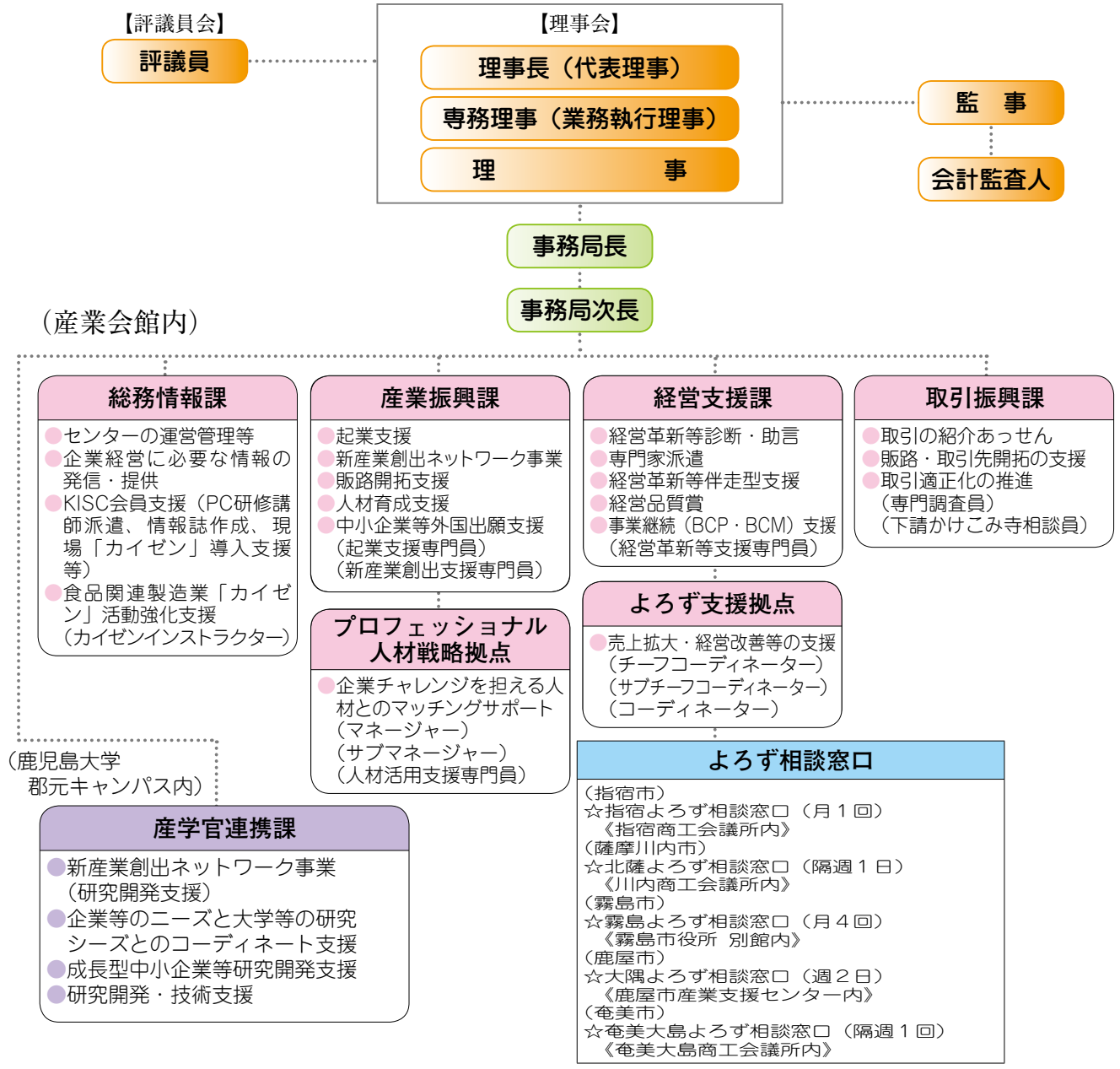


本　社　指宿市山川新栄町1-58
ＴＥＬ　0993-34-2490
工　場　指宿市山川大山603-7
資本金　900万円
従業員数　48名

◆事業内容
鰹節、鰹パック、だしパック、鰹生節、鰹佃煮の製造

【2023年４月会員加入】

（公財）かごしま産業支援センター組織・機構



INFORMATION　TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課	099-219-1271	099-219-1279	setubi@kisc.or.jp
〃（情報）	099-219-1275		info@kisc.or.jp
産業振興課	099-219-1272		ikusei@kisc.or.jp
経営支援課	099-219-1273		keiei@kisc.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kisc.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kisc.or.jp
よろず支援拠点	099-219-3740	099-223-7117	kagoyoro@yorozu-kagoshima.go.jp
指宿よろず相談窓口（指宿商工会議所内）	(注) 相談予約はよろず支援拠点に御連絡ください。 TEL：099-219-3740 FAX：099-223-7117		（住所） 指宿市大牟礼1-15-13
北薩よろず相談窓口（川内商工会議所内）			（住所） 薩摩川内市神田町3-25
霧島よろず相談窓口（霧島市役所別館内）			（住所） 霧島市国分中央3-48-1
大隅よろず相談窓口（鹿屋市産業支援センター内）			（住所） 鹿屋市北田町３番3-23号
奄美大島よろず相談窓口（奄美大島商工会議所内）			（住所） 奄美市名瀬入船町 12-16
プロフェッショナル人材戦略拠点	099-219-9277	099-219-9266	projinzai@kisc.or.jp

雇用の問題 お悩み解決のためのサポートをします！

早期退職を募らなくてはいけなくなりました。
従業員の次の就職先を見つけたい。

一時的に社員の仕事が
なくなってしまう。
そんな時どうすればいいの？

ハラスメント防止など社員教育に課題が
あり、セミナーの必要性は感じているが、
なかなか手が回らない。

採用って難しい。
一回二回の面接では判断できない。
当社に合う方を紹介してくれたら助かるのに。

他社ではどのように
取り組んでいるのか？
他社に出向してもらって、
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善につなげたい。



定年を迎える社員。
能力も高く経験も豊富なのに、
引退してしまうのはもったいない。
まだまだ社会に貢献できるのに。

安心のサポート



下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい



産業雇用安定センターとは？

1987年（昭和62年）、労働省（当時）、日経連、産業団体などが協力して、「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートします。

- 全国の労働局・ハローワークと連携
- 全国47都道府県に事務所を設置
- 相談・紹介・仲介・斡旋の費用は無料
- 設立以来、24万人の再就職・出向の支援実績
- １人の求職者に一人のコンサルタントがマンツーマンでサポート

産業雇用安定センターが、詳しくわかる動画は、こちらをご覧ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 鹿児島事務所
〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル４階
TEL 099-812-9551 FAX 099-258-9101【ご利用時間】9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

www.sangyokoyo.or.jp
産業雇用 検索

ISO 審査
教育・研修
【品質】【環境】【安全】
ISO 審査
・標準文書無料提供
・内部監査員研修優遇
・県内審査員で交通費ほぼ０
地元で安心、コストも安い!!
ISO 審査代理店
南日本審査株式会社
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 3344-2
TEL:0995-64-5727 FAX:0995-64-5078
URL://www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center
かごしま産業支援センター
〒892-0821
鹿児島市名山町9番1号（県産業会館2F）
TEL（099）219−1270
FAX（099）219−1279
E-mail:kisc@kisc.or.jp https://www.kisc.or.jp